

南極観測隊経験者にインタビュー



むらいし ゆきひこ 村石幸彦さん

参加した観測隊

- ・第4次越冬隊

プロフィール

- ・東京都生まれ。日本大学電気工学科卒業。



南極ではどんなおしごとをしたのですか？

地磁気観測

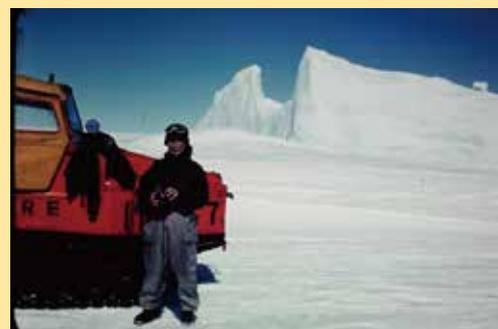
- ・地磁気の絶対観測・地磁気連続観測（データ取り、記録紙交換、修理）
- ・地電流観測・観測小屋の保守（建設、修理）・他の観測隊員の手助け

設営兼務

- ・備品日用品の管理・調査旅行の準備・依頼品、無線機の準備
- ・六分儀による天測（現在地の確認）・無線機による基地との連絡・便所掃除（排泄物の片付）
- ・飲用水のための雪や氷集め（近くの冰山へ行く）
- ・降雪後の雪かき（当時は重機がなくすべてスコップによる作業）隊員全員の当番制

初めて南極におり立ったときの感想をおしえてください。

私が参加した第四次隊の時は宗谷が接岸できなかったため、輸送は全て2機のヘリコプターで行ないました。ヘリの上空から眺めた南極の素晴らしい風景に心を奪われて感激したのもつかの間、土木工事の現場以上にすさまじい昭和基地に舞いおりました。以後は30分位おきに休む間もなく荷物を満載して飛来するヘリのピストン輸送、荷卸し中もエンジンは切らないので舞い上がる砂塵、砂漠よりも乾燥した気候で目は充血、唇ははれてひび割れを起こし、荷役作業に疲労困憊し、きつい日々を送らざるを得ませんでした。でもすべての物資を運び終え、宗谷が氷海のかなたへ去った後、嘘のような静けさに包まれた時になって、ああ地の果てに居るのだなという実感がこみ上げて来ました。



印象に残ったこと・楽しかったことはなんですか？

- ・夜毎に仰ぐオーロラ。海に浮く巨大な冰山。果てしなく続く大陸の氷原等自然の美しさ。
- ・一人スキーを履き、気に入ったカラフト犬にひかせて海氷上を遠出したこと。
- ・一番辛く悲しかったこと。福島隊員行方不明。それに続く捜索。吉田隊員とのビバーク。そして帰国までに発見できなかったこと。
- ・子供たちに向けて。目標を定め、努力すれば必ず叶う。